



誇～共に築く誇れる石中～生徒総会開催～

「多様な個性を認め合い、尊重し合うチーム石中づくりへ」始動



5月9日（水）の3・4時間目。前期生徒総会が開催されました。執行部・各委員会・部長会・応援団・各学年生徒会より令和6年度の活動計画が提案され、可決されました。前期の生徒会活動スローガンは「誇～共に築く誇れる石中～」。生徒一人ひとりが石中プライドを心に留め、周囲に誇れる学校を創っていきたいという思いがこめられています。

執行部の活動計画前文です。「**生徒全員が普段の生活から石中生としての自覚と責任をもち、基本的な行動をきちんと行うこと**



ができるようになることで、他の中学校や地域の方に胸を張れるようになります。そのため、生徒会が中心となり、時間意識に関する活動や挨拶運動など、当たり前のことを当たり前に行えるような取り組みを通して、規律を守り楽しく過ごすことができるような学校をつくっていきます。生徒の皆さんも、自ら積極的に石中の各種活動に参加し、今まで先輩方が繋いできた石中の伝統を引き継ぎながらも、今までよりもさらに誇り高く活気のある石中を築いていきましょう。生徒全員が共に進み、石中プライドにさらに磨きをかけていきましょう。」新時代に向けてスタートですね。

【前期生徒会執行部と各担当】 令和6年度石中生徒会よろしくお願いします。

会長	菊池有人（3-3）	学習委員長	古舘莉音（3-1）
副会長	継枝利優（3-2）	生活安全委員長	上川祐真（3-2）
副会長	佐藤大和（2-3）	保健美化委員長	藤原立稀（3-1）
常任議長	高橋知里（3-2）	広報委員長	鎌田昂佑（3-3）
書記長	藤原賢真（3-3）	給食委員長	熊谷朋久（3-2）
書記次長	三瓶耀大（2-1）	図書委員長	穴澤茉奈（3-1）
執行委員	佐々木和奏（3-1）	部長会会長	畠山真莉華（3-1）
執行委員	田中大貴（3-1）	1学年執行部委員長	菊池 春（1-3）
執行委員	作山礼菜（3-3）	2学年執行部委員長	小森田早紀（2-2）
執行委員	高野伽菜（3-3）	3学年執行部委員長	小田島永明（3-2）
執行委員	筑後琴子（2-3）		
応援団長	高橋諒丞（3-3）		



【校長室より】常任議長の高橋知里さんの的確な議事進行でスムーズな総会でした。単純な質問だけではなく意見がたくさん

出たところも良かったです。発言の音量も相手意識を持った話し方も意識できてたと思います。これからの集会活動でも、全校生徒で意識していきましょう。

Respect・Believe・Yell～元気に体育祭練習取り組み中！～



今年度の体育祭の結団式（各組団の結成式です。）は5月2日（木）でした。5月18日（土）開催予定の体育祭に向けて、各組団ごとに結団式が開催され、リーダーの自己紹介や所属の先生方の紹介などが行われました。その後、全体会で生徒会長からの決意表明後、各組団長からの言葉や応援披露で全校のモチベーションが上がり、体育祭への意欲が高まりました。3年生は修学旅行の疲れも見せずに元気に後輩をリードして

いました。スローガンは『Respect Believe Yell』。Respect（仲間も他の組団も尊重し）、Believe（仲間や自分を信じて）Yell（全力で応援する）という意味がこめられています。競い合いながらも、お互いを尊重し、敬意を示す。仲間や自分を信じて、最後までやり抜く。自分の組団はもちろん、相手の組団も全力で応援する。それらの行動を通してお互いに切磋琢磨することによって、最高の体育祭を創り上げていきたいという生徒会執行部の思いがこめられています。おしゃれなことにそれぞれ頭文字がRed(赤)Blue(青)Yellow(黄)と各組団の頭文字となっています。各組団ともスローガンの下、元気に練習に取り組んでいます。18日（土）は今のところ晴れそうな予報が出ています。今は、各組団の2・3年生が1年生へ応援を指導する姿が多く見られます。1年生は毎日、成長し中学生らしいたくましさが見られるようになりました。ケガや体調管理に注意していきたいです。



PTA専門部会を開催しました。

5月9日（木）、総務部会・生活指導部会・会員研修部会からなるPTAの専門部会が開催され、それぞれ組織づくり、本年度の事業計画についての確認を行いました。主として。総務部会では体育祭や文化祭等の行事への支援活動、生活指導部では交通安全指導、会員研修部ではPTA会報「ゆずりは」の編集・発行についての話し合いが行われました。PTA会長の岩館大輔さんも来校して頂き、各部会で激励のご挨拶を頂きました。各部会の皆さん、お忙しいところだと思いますが、よろしくお願いいたします。Parents(保護者). Teachers(教員)協力して学校を盛り上げていきましょう。

【校長室より】昨年再映画化されて大ヒットした映画「スラムダンク」の原作者、井上雅彦さんの言葉。「成功の秘訣。それは登場人物すべてに必ず欠点をつくることです。オールマイティな人間はつくらない。人は長所で尊敬されて、短所で愛される。完璧な人間を目指さなくていい。不完全さは世界を面白くするために必要なんです。」

「人は長所で尊敬されて、短所で愛される。」教育の世界でも共感できる言葉だと感じています。完璧をめざさせて、失敗を指摘し続けるのではなく、長所を見つけて伸ばし、短所を長所へと変化させる。そんな気持ちで生徒に寄り添っていきたいと思います。体育祭の取り組み。たくさんの長所が発揮され、ところどころで短所が見られるでしょう。教員として、どう対応し、どんな言葉をかけていくか、大切にしていきます。